

第 I Xの罪責

I 有印私文書偽造罪の共同正犯（Xの行為①）

..... 25

- (1) 事実証明に関する文書
- (2) 偽造
 - ・名義人の承諾
- (3) 有印
- (4) 故意
- (5) 行使の目的
- (6) 共同正犯（後述）

← 偽造について詳しく検討します（pp. 180-183）。いろいろな解答がありえます。

2 偽造有印私文書行使罪（Xの行為②）

..... 8

- (1) 偽造有印私文書
- (2) 行使
- (3) 故意
- (4) 共同正犯（後述）

- 3 詐欺罪（Xの行為③） 30
- (1) 他人の物
- (2) 人を欺いて物を交付させた
- ア 欺く行為
- ・重要事項性
- イ 相手方の錯誤
- ウ 相手方の交付行為
- エ 財物の取得
- (3) 故意
- (4) 不法領得の意思
- (5) 共同正犯（後述）
- 4 罪数 3

← 欺く行為について詳しく検討します（pp. 184-185）。ここも、いろいろな解答がありえます。

第2 Yの罪責

- 1 有印私文書偽造罪の共同正犯（Yの行為①）
..... 25
- (1) 共同正犯
- (2) 共犯と身分
- ・刑法65条1項の趣旨
- ・刑法65条1項の「共犯」
- 2 偽造有印私文書行使罪の共同正犯（Yの行為①）
..... 3
- ・共同正犯

← 共犯と身分の点をどの程度詳しく検討するかは、見解によって変わってきます（p. 186）。

← 共同正犯の成否について、上の1と同じことが当てはまるのであれば、ここは簡潔な記述でもかまいません。

3 詐欺罪の共同正犯 3 ← 同上。

・共同正犯

4 罪数 3